

2月の農業情報

タイトル 現場イノベ事業で開発した生育診断アプリをミニトマト農家に説明

とき 令和7年2月7日(金)

ところ 豊川市

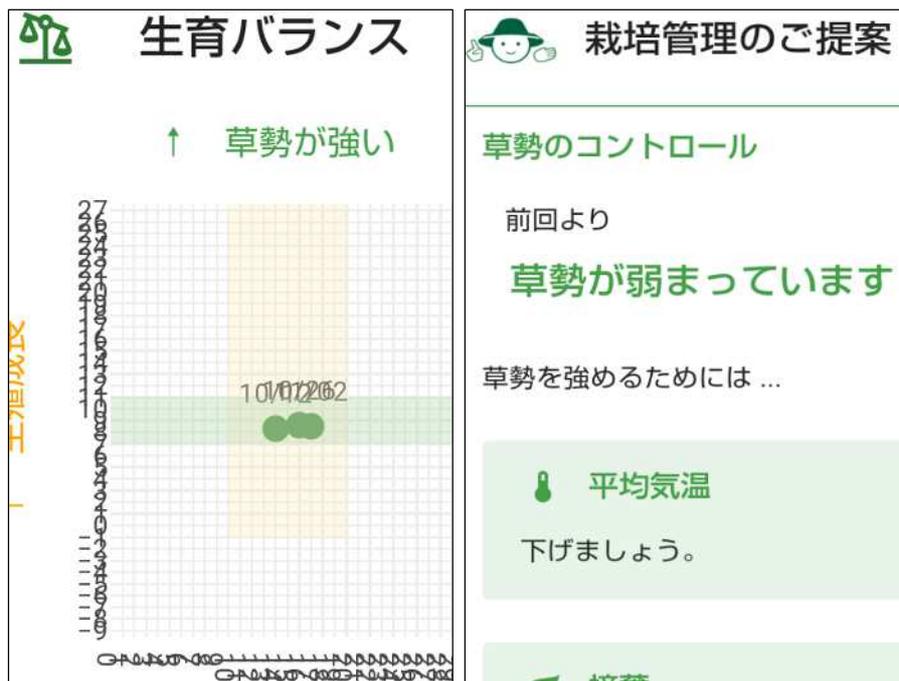
主体・対象 JAひまわりミニトマト部会（44名）

内容

農業改良普及課は、現場フィールド活用型イノベーション推進事業<sup>※</sup>で取り組んでいる「環境モニタリング確認アプリ」の説明会を実施しました。

ミニトマト部会の若手生産者の研究会「ミニラボ」の会員4名に対し、県農業総合試験場野菜研究室と共同研究企業（株）IT工房Zの担当者から、アプリの使い方について説明しました。これまでは生育調査を行ってもそのデータを栽培管理に反映する方法は自分で判断する必要がありましたが、今回のアプリを活用すれば、自動的に生育診断され、クラウドサーバーから栽培管理の提案を受けとり参考にすることができます。説明会后、研究会員4名はそのアプリを登録し、試験利用を開始しました。

※現場フィールド活用型イノベーション推進事業：公募により選定されたスタートアップ等の企業と普及指導員が協力し、現場の課題解決に取り組む事業。



アプリの画面